

『毎日の情報 I』 ～毎日配信企画～

No.019

知的財産とその保全は、広範なテクノロジーとデータ管理の分野において特に重要な要素となります。知的財産は、人間の創造的な活動から生まれる無形の財産で、著作権や産業財産があります。著作権は、作者の思想や感情が創作活動により形象化された [①] に対して自動的に与えられる権利です。例えば、文学作品、音楽作品、美術作品、映画作品などが著作権の対象となります。一方、産業財産権は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権などを含みます。これらの権利は、新たな技術やデザイン、商標などを保護し、その独占使用を保障するものです。しかし、著作権は [②] という特例を設けて、教育や研究などの公益的な目的のための利用を許可しています。例えば、引用はその一つで、他人の著作物を一部使用することが許されています。また、著作権は原則として作者の死後 [③] で消滅します。これらの規定は、創作活動を奨励し、文化的な表現と情報の自由な流通を促進するという公的な目的を達成するために存在します。

問1 空欄 [①] から [③] に当てはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

問2 下線部 A について、著作権が自動的に発生する理由とその重要性について説明する文を選びなさい。

- ① 著作権は、作品が公表された時点で発生するため、著作権者は自身の作品を自由に利用できます。
- ② 著作権は、作品が創作された時点で自動的に発生するため、著作権者は自身の作品を保護することができます。
- ③ 著作権は、作品が創作された時点で自動的に発生するため、著作権者は自身の作品を他人に譲渡することができます。
- ④ 著作権は、作品が創作された時点で自動的に発生するため、著作権者は自身の作品を公表することができます。
- ⑤ 著作権は、作品が創作された時点で自動的に発生するため、著作権者は自身の作品を自由に配布することができます。